

委員会等の会議録

1 会議名	第8回愛南町学校統廃合検討委員会	
2 議題	(1)愛南町公立小・中学校再編に関する答申書(素案)について (2)今後のスケジュール等について (3)その他	
3 開催日時	令和3年7月27日(火) 19時00分から20時00分まで	
4 開催場所	愛南町役場本庁3階 大会議室	
5 傍聴者数	※非公開会議	
出席者		
6 委員	出席 18名 欠席 2名	
7 担当所属	所属名	学校教育課
	担当職員 (職・氏名)	教育長 中村 維伯 課長 岩井 正一 課長補佐 近田 幸信 課長補佐 西田 順哉
8 その他の 出席者	所属名	
	出席職員 (職・氏名)	
議事内容(次ページから)		

発言者	発言内容
近田課長補佐	定刻となりましたので、ただ今から第8回愛南町学校統廃合検討委員会を開会します。
委員長	(開会あいさつ)
近田課長補佐	(本日の資料の確認) それでは、早速協議事項に移ります。ここからの議事進行につきましては、委員長にお願いします。
委員長	それでは、まず初めに、愛南町公立小中学校再編に関する答申書(素案)について、岩井課長が御説明いたします。 岩井課長、お願いします。
岩井課長	愛南町公立小中学校再編に関する答申書(素案)について、朱書き訂正部分を説明する。
委員長	これまでで、ご意見、気がついたことや、何かご質問、などはありますか。
委員長	〇〇委員どうぞ。
委員	5ページの(オ)一本松区域に、篠山小学校は、どうして入れないのですか。
岩井課長	篠山小学校に関しては、5ページの一番下に記載してありますように、今後、愛南町学校再編計画(仮称)を参考にし、宿毛市と協議していきます。
委員長	ほかにありませんか。
委員長	〇〇委員どうぞ
委員	通学の希望先として久良小学校だけ選択できるようになっていますが他の学校でもある程度自由に選択できるようにしてもいいのではないのでしょうか。

岩井課長	<p>久良小学校だけの記載となっておりますが、久良小学校は統廃合の時に距離的なことを考慮して選択できるようにしています。また、現在は以前と比べてある程度保護者の希望に沿った形で校区外通学を認めています。</p>
委員長	<p>そのほかないでしょうか。 では、この素案で、おおむね了承していただけますか？ 委員の皆さんよろしいでしょうか。よろしければ、拍手をお願いします。</p>
委員全員	<p>(全員拍手)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 なお、小さな語句の整理等、事務局で作成・精査したものを、最後に私（委員長）と副委員長で確認して、答申書の完成ということでした承して頂けますか？ 委員の皆さんよろしいでしょうか。よろしければ拍手をお願いします。</p>
委員全員	<p>(全員拍手)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p>
委員長	<p>続きまして、次第の（２）今後のスケジュール等について、岩井課長がご説明いたします。 岩井課長、お願いします。</p>
岩井課長	<p>8月上旬から中旬までに、教育委員会へ答申します。その後、教育委員会、議会、校長会、校長会や学校教職員、保護者、PTAにはマチコミなどで周知します。 また、地域関係者には広報誌やホームページ等で周知します。マスコミにはプレスリリースで、なるべく同時に周知できるような方法を考えています。 今後、教育委員会では、この答申内容について保護者やPTA、地域の方々に説明に伺い、理解を得た上で調整を図り具体的な再編計画（仮称）の策定に向けていく予定です。</p>

委員長	これまでで、ご意見や何かご質問などはありませんか。
全委員	(なし)
委員長	最後に、次第の(3)その他と言うことで、何かございませんか。お気づきのことなど、何でもかまいませんので、何かありませんか。
全委員	(なし)
委員長	それでは、以上で、すべての協議事項が終わりました。皆さま、ご協力、ありがとうございました。では、最後に、中村教育長より、ご挨拶があります。中村教育長、お願いします。
中村教育長	<p>愛南町学校統廃合検討委員会も今回が最終回ということで、ひとこと、お礼を申し上げます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、昨年11月から8回にわたり、愛南町学校再編に関するご検討をいただき、そして本日、充実した答申に纏めていただき、本当にありがとうございます。</p> <p>特に、委員長、副委員長におかれましては、委員の皆様が積極的に意見を出しやすい雰囲気づくりと各種調整にご尽力いただきましたことこの場をお借りしましてお礼申し上げます。</p> <p>今回の答申につきましては、教育委員会として、真摯に受け止め、尊重し、熟議を重ねたうえで、町長とも相談しながら、愛南町学校再編計画の策定に繋がりたいと思います。その中で、各小中学校のPTAとの調整や地域の理解も得ることができればと考えています。</p> <p>ご存じの方もいると思いますが、中央教育審議会とって、文部科学大臣の諮問機関で、教育振興などの政策を審議して提言する機関があります。その中央教育審議会が、今年1月に「令和の日本型学校教育」の構築を目指してという提言を出しました。目指す教育の姿を、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現としました。そして、その中で、子どもたち同士の学び合いが大切であるとされています。</p> <p>今回の答申のような学校再編が進むことで、一人一人の学びに合わせて、子どもたち同士の協働の学びが展開できる環境が</p>

	<p>向上できるのではないかと期待をしております。</p> <p>学校再編は目的ではありません。学校の魅力化を推進することで、子どもたちに郷土愛を醸成できるようなキャリア教育を充実したいと考えます。その結果、将来、愛南町に帰るブーメラン人材となる子や、町外から愛南町の発展に寄与する関係人口の一員となる子どもが一人でも多く、育成できればと切望しています。</p> <p>終わりになりますが、委員の皆様におかれましては、今後も、愛南町の学校教育の振興にご支援ご協力いただきますよう、よろしく願いいたしまして、お礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、進行を事務局にお返しします。</p>
近田課長補佐	<p>それでは、閉会挨拶を副委員長が申し上げます。</p>
副委員長	<p>(閉会あいさつ)</p>
近田課長補佐	<p>副委員長ありがとうございました。</p>
近田課長補佐	<p>以上をもちまして、第8回愛南町学校統廃合検討委員会を閉会いたします。</p> <p>これまで、本当にありがとうございました。</p> <p>そして、大変お疲れさまでした。</p>